

馬放 農地・水・通信

第4号
発行日：H20年9月10日

活動も2年目に入って

馬放農地・水・環境保全活動も2年目に入り、活動の意義等も少しずつご理解いただけるようになったのではないかと考えております。

又、農道、開水路の草刈、花の植栽、生き物調査等、当初の計画通りスムーズに進んでまいりました。ここに馬放農地・水通信第4号発行にあたり、今回は本年度前半の活動記録（主に農村環境向上活動、植栽・生き物調査）を中心に写真でまとめてみました。

美しい馬放をみんなで守り続けましょう！！

6月5日 公会堂周辺植栽



芝桜
ナシノブ科の多年草

公会堂周辺の花壇に植栽された芝桜！今年は花の見頃が終わってからの植栽でしたが、来年はきれいな花を咲かせてくれると思います。

6月14日 機場周辺の植栽場所花壇づくり（下準備）



しばらくぶりの大工仕事！でもなかなかいい感じ？

6月15日 花壇造りから始まった植栽 参加者57名



ブロック曲がっていないがな

ユンボも大活躍



花さんのベット作り
丁寧に！
ちゃんと！！

馬放東花壇、公会堂周辺、機場周辺への植栽。



機場周辺



今年の花植えも良い天気になりました。
雨にも負けず、風にも負けず
きれいに育ちますように！



馬放の小さいつぼみたち
皆 丈夫に育つんだよ。
うん。このパン
うまいね。うんうまい！



フェンスも衣がえ。足元にはステキな花

馬放東花壇

植栽、無事終了～～。 ならんだ。ならんだ
赤、きいろ、オレンジ、きれいになったね



公会堂周辺花壇



全員集合！ でも子供達がないのが残念。

ここにはこの花の色を植えて、
こっちはこの色で。
よぉ～し、出来た！！
うん～～～～。カンペキ ♡



私、絵になってます。
似合う?!
やっぱり！ ウフ

植栽後の水掛も大変でした！



このバケツ水くみに

大・大・大活躍

ヨイショ。ヨイショ！
これで
何回目だっけ?!



明日、雨降ったり
しないよな
(おれたちの二人言)



7月19日草取り

この日も大変暑かったで～～す。



植栽から約1ヶ月
花も育ち
草も育つ
馬放の無農薬花壇

結構しんどいね。
この草ガンコだ！
それ！ エ～～イ

今年は生き物調査を2回実施

6月28日第1回生き物調査 参加者42名

昨年と違い、土堀の開水路がなくなり、三面に。又、水も多くて大変だった。



「みんな～、水が多いから
気を付けてよ！ わがった～～」
ア～ア、き・い・て・な・い・ね！



何かはあるけど、
動きが早くて捕まえられな



クイズ これは何でしょう？

今年は去年よりも魚少ないみたい...
とガッカリ!!はしていなかった。
オオ～～!! アア～～!!
エ～～!! ギャー!!
と、大はしゃぎの子供達でした。

8月16日第2回生き物調査 参加者29名



あいにくの雨模様でしたが、子供達も一生懸命に調査をしました。



今度も水多いね！川に入るなよ～。

ホラ、あぶない！

今の時代に、川で魚とりが出来る子供達は
幸せなんですね。貴重な体験!!



何が何匹いるのか数えて！

1匹,2匹,サン,4,5,口ク.....9匹...



土堀の開水路から三面の開水路へ

昨年と比較して

川の流れが速かったこともありますが、今年3月まで土堀だった開水路が三面に変わり、比較的清流に棲むといわれているヨシノボリが全然捕れなかった。また開水路北の田圃が減反政策で稲作ではなく豆畑に変わっていたことも影響しているのではないかとと思われる。

クイズの答え ヒメモノアラ貝（左）とサカマキ貝（右）



ヒメモノアラ貝（右巻き）・サカマキ貝（左巻き）は卵の時に機場のポンプでくみ上げられる水に混じって田んぼに流れてくる。しかも水が流れているところ（給水口付近）に多く集まるということでした。



今回捕獲した生き物

クモ類



昆虫類



魚類



蛙類



貝類



ザリガニ



コガネグモの仲間
体長は雌で約2cm弱、大型の部類に属し、初夏に成熟し、雌の腹部には幅広い黄色と黒の横しま模様があるのが特徴。雄は雌の1/5位。形はそのまままで茶色一色。

アシナガグモ（第2号参照）

コモリグモの仲間
活発な徘徊性のクモで。やや小型。体色は灰色か褐色を中心とした、地味なものが多い。

エンマコオロギ

成虫の体長は26-32mmほど。背面は一樣に黒褐色、腹面は淡褐色だが、体側や前翅は赤みを帯びる。

オンブバッタ（第2号参照）

羽黒トンボ（第2号参照）

イナゴ

マツムシ（第2号参照）

メダカ

目が大きく頭部の上橋から飛び出していることが、名前の由来。

ドジョウ（第2号参照）

ハヤ?

ふな（第2号参照）

トウキョウダルマガエル
（第2号参照）

ニホンアマガエル
（第2号参照）

おたまじゃくし

アカガエル?

ヒメモノアラ貝

（第2号参照）

サカマキ貝

殻が多くの巻貝類とは逆の左巻き。

カタツムリ

海や川に住む貝の仲間。水の中に住んでいる貝はえらで呼吸をするが、カタツムリは肺で呼吸する。

カラスガイ? or ドブガイ?

どちらも北海道から九州にかけて広く分布

²¹ カイエビ

全身が二枚貝のような甲羅に覆われ、その隙間から脚を出して泳ぎ回る

²² アメリカザリガニ

（第2号参照）

捕獲した生き物については昨年発行した広報紙第2号を参考にさせていただきたいと思います。